



認定 NPO 法人 WE21 ジャパンこうほくは リユースリサイクル・チャリティのお店「WE ショップこうほく」をボランティアで運営し、その収益でアジアの女性たちが自立して暮らしていけるよう民際支援活動をしています。

発行 特定非営利活動法人 WE21 ジャパンこうほく 〒223-0061 港北区日吉 2-12-7 TEL/FAX 045-563-1808

💻 <https://we21kk.org/> 📸 大倉山店・日吉店 QR コード裏面に有 📝 <https://we21kk.hatenablog.com>



8月核兵器廃絶アピール月間に報告会開催＆記録映画上映会参加

戦後 80 年被爆 80 年に当たり、核兵器廃絶を目指して活動する団体「かたわら」の代表高橋悠太さんから活動を聞き皆で考えました。ドキュメンタリー映画「サイレントフォールアウト」は被爆の現実が米国でも起こっていたことを教えられました。

一般社団法人「かたわら」活動報告会+ワークショップ 「核兵器のない平和な世界に」 2025.9.3 @港北区社会福祉協議会

核兵器廃絶を目標に G7、SDGs、国連「未来サミット」等で被爆者や核兵器廃絶を目指す市民の声を訴える活動を続けている「かたわら」の高橋悠太代表を迎えてワークショップと活動報告会を開催。広島の古い地図を見ながら、原爆投下が何故広島だったのかを考え、中高生を対象にした「かたわら」の平和教育プログラムを参加者全員で体験しました。



高橋悠太代表と

原爆投下数時間後の写真をみて、これはどこで人々はどうなって何をしているのだろう？救助のトラックの軍人は助けを求める少女にどうしただろう？もし自分がその場にいたらどうするか？等々、実際の被爆者の体験・証言と当時の写真を使用して参加者が隣同士で話し合い、全体で伝え合ライメジワーク。これは戦争になつたら社会がどう変わるかを想像することでもあり、軍事化により個人が失われる社会を望ましいと考えるか、事実から学び話し合い、具体的な洞察力を養うすべての世代に必要な体験ワークでした。

最後に 1981 年英國グリーナム・コモン空軍基地巡航ミサイル配備反対運動をした女性達のビデオ映像を視聴、昨今核使用を脅しに使う国があり、核のタブーの敷居が低くなっている現在、核兵器に頼らない未来の世界の人々の安全のために何ができるか、一緒に考える事が詰まった報告会でした。（こうほく会員）

映画「サイレントフォールアウト」を視聴して 2025.8.10 @保土ヶ谷公会堂



第二次大戦後、アメリカ、ネバダの核実験場では 100 回を超える核実験が行われていたという。核の怖さを知らないアメリカ人はそのキノコ雲を見ようと観光地になっていたというから恐ろしい。アメリカ西端に位置するネバダから気流に乗って放射能物質は東端に位置するニューヨークまで、アメリカ全土を覆うようにはらまかれていく。そしてネバダ近郊の子供達は次々とガンを発症し亡くなっていく。少しづつ異変に気づきはじめる人々、そんな中「我が子を放射能から守らなければ」と行動を起こしたのは母親たちだった。

監督の伊東英朗さんは「頭がお花畠と言われるかもしれません、本気でこの地球上から核兵器をなくしたい」と、現在 4 作目の反核の映画制作のためクラウドファンディングを募って準備している。（こうほく会員）

「貧困なくそうキャンペーン」 2025.10.1～31

沖縄県で生活困窮世帯にベビーミルク支援をされている「共育ステーションつむぎ(那覇市)」の活動を昨年に引き取り上げ、店内掲示で紹介しました。10月の売り上げから 70,000 円と 10 月店頭募金 10,166 円を「つむぎ」の活動に寄付しました。



那覇市の母子会事務局長をされていた高良久美子さんが知ったのは、赤ちゃんに粉ミルクを薄めて飲まなければならない家庭があることでした。困っている母親に一刻も早く粉ミルクを！その思いで立ち上げたのが「つむぎ」。私たち、WE21 ジャパンこうほくの沖縄チームが初めてお会いした時、高良さんは 2 つの仕事を掛け持ちしながら、粉ミルクや衣類を求めている人たちに配達していました。

こうほくから「つむぎ」に支援を始めたころ、高良さんは仕事を辞めて「つむぎ」一筋に。それからの高良さんのパワーは凄まじく、市町村をも動かし始めました。支援で少しでもその活動の後押しが出来たこと、ショップに来られる大勢のお客様やボランティアの皆様のお陰だと思っています。（こうほく理事）

大倉山店内の展示
と店頭募金





チョコ募金

1 口(¥550)のご寄付で
チョコを 1 缶プレゼント

2025 年 12 月 1 日

大倉山店・日吉店にてスタート

ジムネット

WE21 ジャパンこうほくは今年もJIM-NETの活動を応援しています

「てんぽ」報告会 5月22日(木) @港北区社会福祉協議会

第 21 回通常総会後、こうほくが 2020 年度より団体として正会員となり支援している子どもセンターてんぽ(以下てんぽ)より、シェルター担当理事の鈴木栄子さんをお迎えして報告会を行いました。

てんぽは、虐待等に悩む 10 代の子ども達の生活相談、シェルター運営、自立支援ホーム運営を行う NPO 法人です。報告は鈴木さんの優しい、丁寧な説明で始まりました。まず、過酷な家庭環境でも子ども達は相談せずに我慢してしまう場合がある事、相談してくれた子ども達の本音を一番大事に活動している事、無事に自立を果たす事ができた利用者とは、その後も交流会を行い、不安を相談できる体制を取っている事、SNS の利用を開始した事等、子ども達の気持ちを中心に丁寧に活動されている様子が伝わりました。私達もできる限りこのてんぽの活動内容を共有し、どのように支援をしていくのか考えたいと思える、有意義な報告でした。



鈴木栄子さん

WE カフェ「昼下がりの音楽会」開催！ 7月26日(土) 14-16 時 @日吉店

ショップのラックを移動させて丸い椅子を並べ、19 名が集い、ボランティアの玉江さんのアコーディオン演奏ではじまったWE カフェ昼下がりの音楽会。まずドレミの歌で発声練習。手作り歌集には懐かしい唱歌も増やして、みんなで輪唱も。途中冷たいお茶タイムで一休み。歌集の頁をあちこち巡りながら、気の



向くまま声を出すのは
久々で、歌が進むにつれて参加者の声が元気
良くなって、後半のコ
ーヒータイムの会話も
弾んだ楽しいカフェ
でした。

アコーディオン生演奏！

布ぞうりのこと



大倉山店が開店して間もない頃、ショップで購入した浴衣地で布ぞうりを作っては寄付してくださる方がいました。履き心地が良いので、お願いして作り方を教わりました。今 WE ショップで扱っている浴衣地で編んだ布ぞうりは、その K さんが教えてくださったものです。鼻緒の紐も古ワイシャツで作るなど、土台のビニール紐以外は全て再利用品のリサイクル優等生！ K さんに感謝し、継承していきたいと、日吉店で製作しています。ショップのリメイクコーナーにあります。

会員募集 [年会費 1500 円]

私たちが法人として活動できるのは、会員の存在
があってこそ！会費は国内外の支援金に使われ
ます。一緒に活動を支えていく仲間になってください
ませんか！

ボランティア募集

例えばショップボランティアは、お店での接客、
寄付品整理など、週 1 回 2 時間程度から。

* 交通費実費払い * ミーティング随時開催
仲間との親睦も深まり、楽しく活動できます。

年末年始のお知らせ

冬季休業日 12 月 27 日(土)～1 月 5 日(月)
初売りは、大倉山店・日吉店とも

1/6(火)・1/7(水)



HP

今年もご支援ありがとうございました。最新情報は TEL・HP・ でご確認くださいますようお願いいたします。